

## ニホンナシの発芽予測

2023年3月15日 南信農業試験場

### < 気象経過 >

- ・2022年10月の平均気温は平年よりも低かったが、2022年11月から2023年2月は平年並みから高く推移した。
- ・2022年10月から2023年2月の日照時間は平年比101~115%と平年並みから多かった。
- ・2022年10月から2023年1月の降水量は全般的に少なく、2023年2月は平年よりやや多かった。

### < 生育状況 >

2022年11月から2023年2月は気温が高く推移しており、自発休眠覚醒に有効な温度（7.2℃以下）に遭遇する時間が少なく、生育予測モデルにおける自発休眠覚醒は、平年に比べ8日~11日遅いと推測された。これは、記録的な暖冬で休眠覚醒が遅れた2021年とほぼ同時期である。3月に入り平年よりも気温の高い日が続き、生育は前進している。

### < 生育予測 >

品種ごとの発芽日について、今後の気温が平年並み、+1℃、+2℃、+3℃と仮定した場合を予測した（表）。

3月15日現在、今後の気温が平年並みで推移した場合、生育は平年に比べて1日~5日早いと推測された。

3月9日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年よりも高い確率が70%である。今後の気温が平年よりも2℃以上高く推移した場合、生育は更に早く進み、発芽は予測日より前進する可能性もある。ニホンナシの生育は今後の気象により大きく変化し、発芽期に近づくほどその影響を強く受ける。今後の気象の推移や、実際の生育に注意する。

表 令和5年3月15日時点での発芽予測日

今後の気温	発芽予測日(平年値との差)			
	幸水	豊水	南水	二十世紀
平年並み	4/1 (-2)	3/26 (-5)	4/1 (-1)	3/30 (-2)
平年 +1℃	3/30 (-4)	3/25 (-6)	3/30 (-3)	3/28 (-4)
平年 +2℃	3/28 (-6)	3/23 (-8)	3/28 (-5)	3/26 (-6)
平年 +3℃	3/26 (-8)	3/22 (-9)	3/26 (-7)	3/25 (-7)
<b>平年値</b>	<b>4/3</b>	<b>3/31</b>	<b>4/2</b>	<b>4/1</b>
令和4年	4/7	3/31	4/4	4/1

予測には発育速度モデル(DVR法)を利用している。予測は南信農業試験場内の調査樹のデータをもとにした。

気象データはアメダス飯田の特別気温を用いた。

予測日の()内は平年との差を表す【-は平年より早く、+は平年より遅い】。

「平年値」は場内の平成13~令和2年(2001~2020年)の発芽日の平均を表す。

( 南信農業試験場 )